

スマート農業技術活用促進法[※]

※農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律

「生産方式革新実施計画」の大臣認定を受けることで
さまざまなメリット措置が受けられます。



計画認定により受けられるメリット措置

- **補助事業における優遇措置**が受けられます。
 - 令和7年度補正予算・8年度当初予算の各種事業(機械導入の支援等)において、**優先採択やポイント加算等の優遇措置**
- **日本政策金融公庫から長期低利の融資**が受けられます。
 - 償還期限を25年以内とする等、**大規模投資にも対応**
 - 据置期間を5年以内とし、事業者の**初期償還負担を軽減**
 - 貸付金の使途に**長期運転資金も設定**
- **設備投資の際、税制上の優遇措置**が受けられます。
 - 機械等の取得等をした場合に、**特別償却を適用**
 - 特別償却により、**導入当初の税負担を軽減**



「生産方式革新実施計画」については、
農政局が作成のお手伝いをしますので、
まずはご相談ください。



詳しい内容については、農林水産省HPをご覧ください。
お問合せ先：関東農政局 環境・技術課
TEL：048-740-0458



申請者等

農業者又はその組織する団体

スマート農業技術活用サービス事業者や食品等事業者が行う生産方式革新事業活動の促進に資する措置を計画に含めることも可能

認定の対象となる事業活動

スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセットで相当規模で行い、農業の生産性を相当程度向上させる事業活動

スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入(取組例)



直播ドローンの活用



直播適性の高い品種の導入



ロボットトラクタの活用



出典：
大区画化前ほ場は国土地理院空中写真

ほ場の大区画化



無人運搬ロボットの活用



省力樹形の導入による動線の確保



搾乳ロボットの活用



フリーストール式畜舎の導入

●相当規模（規模の要件）

- ・本事業活動で取り組む品目における、申請者の作付面積又は売上高のおおむね過半で取り組むこと。

●相当程度（計画の目標）

- ・計画全体で農業の労働生産性*を5%以上向上させること。
- ・本事業実施前と比較し、所得が減らずにそれが黒字となること。

●実施期間

- ・原則5年以内（果樹等の植栽又は育成を伴う場合等は10年以内で設定可能）

なお、表面のメリット措置の活用にあたっては、それぞれ別途要件があります。

また、スマート農業技術活用サービス事業者や食品等事業者もそれぞれ独自の要件があります。

*労働生産性…付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）／労働時間or取組人数

関東農政局管内における主な認定事例の紹介

直進アシスト機能付直播機 + ほ場の合筆・均平化

農事組合法人百目木宮農組合（千葉県袖ケ浦市）

対象品目：水稲

直進アシスト機能付直播機の導入に合わせ、作業効率を高めるためほ場の合筆・均平化を実施。併せて栽培管理システムを導入し、取得したデータを他の生産者と共有することでほ場ごとに適正施肥を実施。



●その他の取組イメージ

直進アシスト機能付直播機の導入に合わせた「新たな生産方式」としては、複数品種を導入した作期分散の取組、なども考えられます。

農業用ドローン+直播栽培体系の導入など

有限会社ソメノグリーンファーム（茨城県坂東市）

対象品目：水稲

農業用ドローンを導入するとともに、直播適性品種の導入、ほ場の団地化、複数品種の導入による労働生産性の向上効果の増大。

●その他の取組イメージ

ドローンを導入した場合の「新たな生産方式」としては、①生育状況診断により得られたデータを産地で共有し、ドローンを活用して適期防除、②センシングドローンから得られたデータを産地で共有し、栽培データを次期作に活用、なども考えられます。



収量コンバイン + データの共有・分析

農事組合法人堀之内（長野県池田町）

対象品目：水稲

収量コンバインにより得られた収量データを地域で共有・分析し、分析データに基づきほ場ごとに適正施肥を実施。収量コンバインによる収穫作業については、促進事業者であるサービス事業者へ委託。

●その他の取組イメージ

収量コンバインの導入に合わせた「新たな生産方式」としては、複数品種を導入した作期分散に取り組むことも考えられます。



関東農政局管内における主な認定事例の紹介

搾乳ロボットなど + フリーストール牛舎

株式会社石田牧場（神奈川県伊勢原市）

対象品目：酪農

搾乳ロボットとともに、事故率を低減する行動管理システムを導入。フリーストール牛舎を導入することで効果が向上。

●その他の取組イメージ

搾乳ロボットの導入に合わせた「新たな生産方式」としては、搾乳ロボットから得られた乳量等のデータをサービス事業者に分析してもらい、分析結果に基づいた最適な飼養管理に取り組むことも考えられます。



統合環境制御装置 + 高軒高ハウス

株式会社千葉白井農園（千葉県白井市）

対象品目：トマト

データを基に適正な肥培管理を省力的に行う統合環境制御装置と、その効果を高める高軒高ハウスの導入で収益性向上。

●その他の取組イメージ

環境制御装置の導入に合わせた「新たな生産方式」としては、収量の増加や高単価販売を実現するために、収穫期間を拡大する栽培方式の導入に取り組むことも考えられます。



注目！

計画認定を受けることで、機械導入を支援する「スマ転事業※」に取り組みやすくなります。

★申請手続きや採択要件での優遇措置があります。

★採択時に加算ポイントが7点付きます。

※スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業

品目ごとの技術的課題の解決のため、スマート農業技術を活用し、農業機械の導入とその効果を高める栽培体系への転換により労働生産性の向上を一体的かつ合理的に実施する産地の取組に対し、機械導入費、資機材費、ほ場整備費、改植・新植費等を支援。